

インフルエンザ(2025 年第 44 週)疫学情報

《コメント》

2025 年第 44 週の定点当たり報告数は 14.90(患者報告数 57,424)となり、前週の定点当たり報告数 6.29 よりも増加した。都道府県別では宮城県(28.58)、神奈川県(28.47)、埼玉県(27.91)、千葉県(25.04)、北海道(24.99)、沖縄県(23.80)、東京都(23.69)、岩手県(17.67)、福島県(15.98)、秋田県(15.40)、山形県(15.31)、兵庫県(15.27)の順となった。全国 47 都道府県すべてで前週の報告数よりも増加した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 527 例であり、前週(235 例)から増加した。43 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(18 例)、1～4 歳(92 例)、5～9 歳(132 例)、10 代(63 例)、20 代(11 例)、30 代(8 例)、40 代(4 例)、50 代(13 例)、60 代(36 例)、70 代(54 例)、80 歳以上(96 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 40 週～2025 年第 44 週)では、AH3 亜型が 51 件(76%)、AH1pdm09 が 13 件(19%)、B 型が 3 件(4%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト([https://idw-info.ijhs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html](https://idw.info.ijhs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html))を参照されたい。